#### ICTを用いた重度化防止の有効性

# 介護施設におけるMEWS (修正早期警戒スコア)を用いたシステムの医療介入の精度検証

- ○前田俊輔※1※3、伊達豊※1、太郎良篤史※2、矢野捷介※3
- ※1(医)芙蓉会・筑紫南ヶ丘病院、※2(医)芙蓉会・メディカルケア南ヶ丘、※3(社) 日本遠隔医療介護協会

# 日本慢性期医療学会CO I 開示

筆頭発表者名: 前田俊輔

演題発表内容に関連し、開示すべきCO I 関係にある企業等として、

#### 研究費·助成金

・ 平成29年度厚生労働科学研究費補助金(政策科学総合研究事業(臨床研究等ICT基盤構築・人工知能実装研究事業)

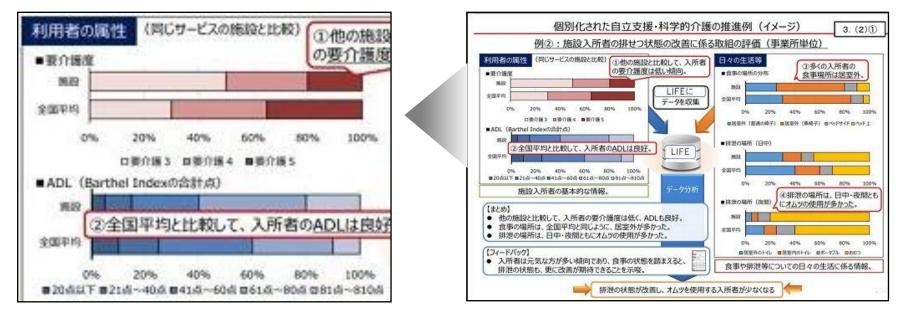
#### 株式の保有

· 芙蓉開発株式会社



#### 科学的介護の導入と重度化防止

- 2021年の介護報酬改定にて、エビデンスに基づく「科学的介護」の導入により、 自立支援・重度化防止の成果が求められることとなった。
- ・ 従来「お世話介護」中心だった介護施設では、「科学的介護」の知識やノウハウが乏しく、AIやICTの活用が必要と考えられている。



自立支援・科学的介護の推進例(厚労省)

### 標準的なEarly Warning Scores (EWS)

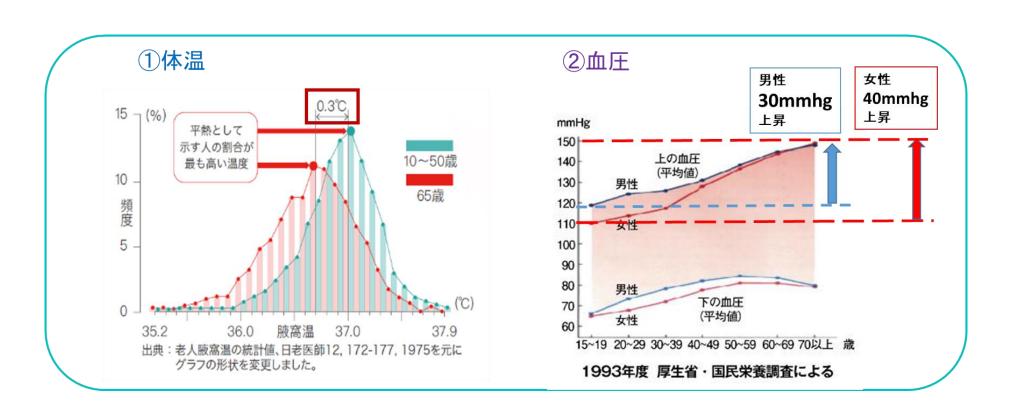
- Early Warning Scores (EWS)システムは、患者の血圧や心拍数などの、絶対値基準のバイタルサインを元にしたスコアリングシステムである(Jayasundera . 2018)
- ・ 病院内で、患者の臨床状態の悪化、または改善を評価するために、よく使用されている (Jayasundera . 2018)

| 項目               | 3     | 2      | 1         | 0         | 1         | 2       | 3    |
|------------------|-------|--------|-----------|-----------|-----------|---------|------|
| 呼吸               | <8    |        | 9-11      | 12-20     |           | 21-24   | >25  |
| SpO <sub>2</sub> | <91   | 92-93  | 94-95     | >96       |           |         |      |
| 酸素投与             |       | あり     |           | なし        |           |         |      |
| 体温               | <35.0 |        | 35.1-36.0 | 36.1-38.0 | 38.1-39.0 | >39.1   |      |
| 血圧               | <90   | 91-100 | 101-110   | 111-219   |           |         | >220 |
| 脈拍               | <40   |        | 41-50     | 51-90     | 91-110    | 111-130 | >131 |
| 意識               |       |        |           | 覚醒        |           |         | 覚醒以外 |

絶対値基準 38. 1~39. 0度

#### 絶対値基準を用いたEWSの課題

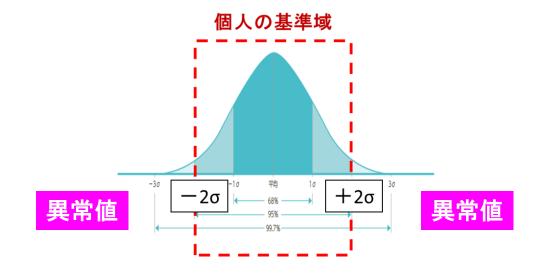
- 体温・血圧・心拍数などのバイタルサインは、個々人の個体内変動があり、特に高齢者は加齢と共に変化する傾向がある
- 高齢者は絶対値基準による検知では早期発見が難しい場合がある





### <u>目的</u>

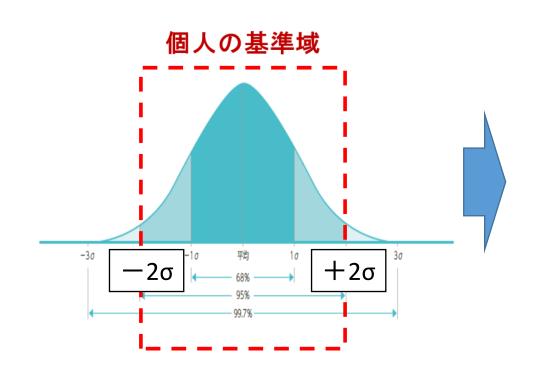
介護施設において、絶対値基準ではなく、相対値基準(平均値±2σ)を用いて「バイタル異常値」を検知し、EWSにスコア配点したMEWS(Modified Early Warning Score)を用いたシステムにより、医療介入(入院・服薬)の検知する精度を検証する。





#### 相対値基準によるMEWSの手法

- 個人の基準域から外れたバイタル異常値を検知し、スコア配点したMEWS (Modified Early Warning Score)を搭載した『安診ネット』 (開発:芙蓉開発株式会社)を用いた
- トリアージは過去の検証を参考に、スコア合計3点以上を赤、2点を黄、1点以下を縁とした



| スコア   | 2   | 1         | 0           | 1         | 2   |
|-------|-----|-----------|-------------|-----------|-----|
| 収縮期血圧 | -3σ | -2σ       | ±2σ以内       | +2σ       | +3σ |
| 拡張期血圧 | -3σ | -2σ       | ±2σ以内       | +2σ       | +3σ |
| 脈拍    | -3σ | -2σ       | ±2σ以内       | +2σ       | +3σ |
| 体温    | -3σ | -2σ       | ±2σ以内       | +2σ       | +3σ |
| 酸素飽和度 | 93~ | 94~95     | 96~100      |           |     |
| 呼吸数   |     | 平均值<br>-5 | 平均値<br>±4以内 | 平均值<br>+5 | -   |
| 意識レベル | 異常  |           | 正常          | -         | -   |

#### 運用法

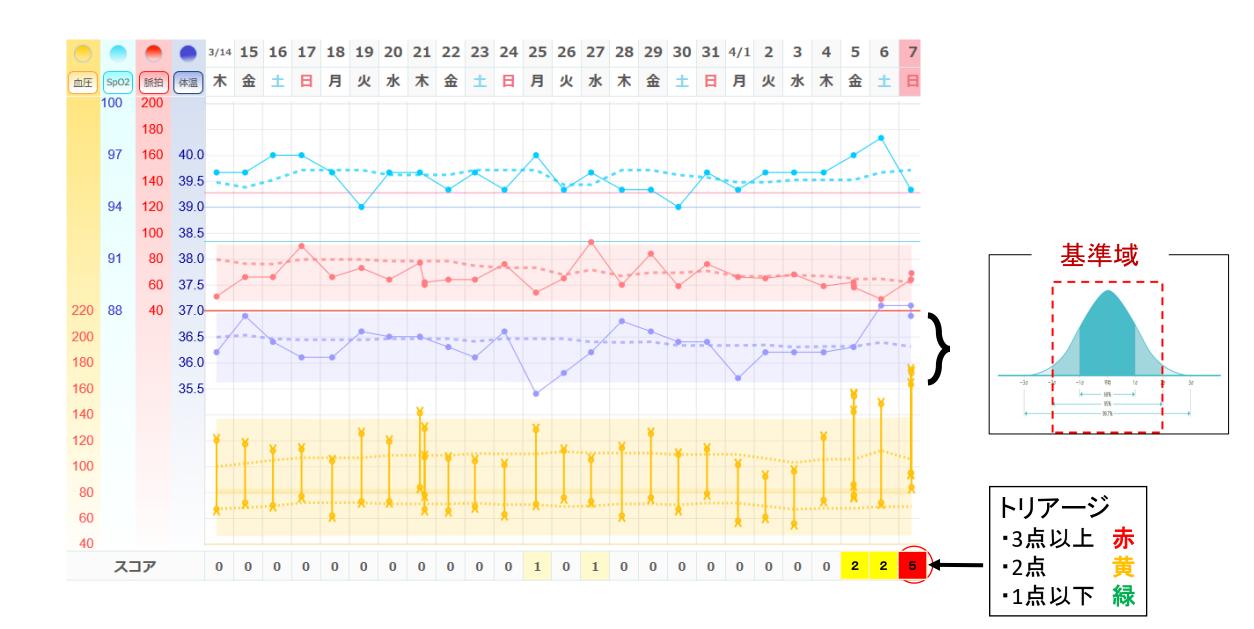
- ① 毎日測定されたバイタルデータは自動送信され、クラウドに収集される
- ② データを分析し、MEWSによりトリアージを赤・黄・緑で示す
- ③「トリアージ:赤で医師に相談、黄で厳重注意」として健康管理を行う
- ④ 日中や夜間に状態異常を発見し、対応に悩む場合は臨時にバイタル測定を行い、 トリアージ: 赤・黄の場合は医師に相談する







#### 『安診ネット』の熱型表



#### 方法

## 検証方法

- 対象者:介護付き有料老人ホームの入居者(定員100名、平均年齢88歳、男性:女性=33%:67%)
- 対象疾患:呼吸器・循環器・尿路感染に対する医療介入(入院・医師の指示による服薬)
- 除外:3名 データが欠損している者(1名)、看取り希望で医療介入を行わない者(1名)、 トリアージ:赤検知日より以前に服薬していた者(1名)
- 対象期間:2021年9月~2022年8月の1年間
- トリアージ: 赤 (MEWSのスコア3点以上)を「検査陽性」とし、全て医師が診察した
- トリアージ:赤が最初に検知された日をカウントし、それより1週間以内の検知はカウントしない
- 「服薬」から「入院」に至った事例は「入院」としてカウントする
- 検査陽性より3日間の医療介入を対象とする (週末など施設都合で受診しない場合があるため)



【検証施設】

メディカルケア南が丘(福岡県大野城市)



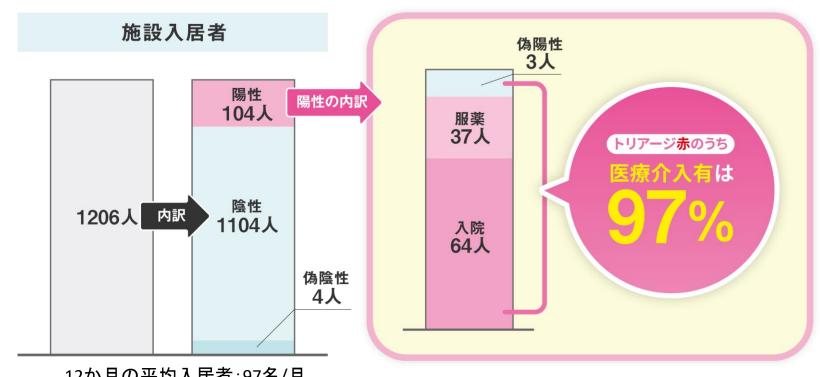
#### 検証結果

|      | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 合計  | 月平均  |           |
|------|----|-----|-----|-----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|------|-----------|
| 入院   | 3  | 6   | 11  | 9   | 4  | 2  | 3  | 3  | 13 | 4  | 4  | 6  | 68  | 5.7  |           |
| 検査陽性 | 7  | 8   | 10  | 11  | 6  | 4  | 4  | 4  | 14 | 7  | 15 | 14 | 104 | 8.7  |           |
| 内入院  | 3  | 6   | 9   | 8   | 4  | 2  | 3  | 3  | 13 | 4  | 3  | 6  | 64  | 5.3  | 97%の入院を検知 |
| 内服薬  | 3  | 2   | 1   | 3   | 1  | 2  | 1  | 1  | 1  | 3  | 12 | 7  | 37  | 3.1  |           |
| 偽陽性  | 1  | 0   | 0   | 0   | 1  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 1  | 3   | 0.25 | 偽陽性率:2.9% |
| 偽陰性  | 0  | 0   | 2   | 1   | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 1  | 0  | 4   | 0.33 | 偽陰性率:5.9% |
| 定時   | 2  | 4   | 5   | 4   | 1  | 4  | 0  | 2  | 2  | 5  | 2  | 2  | 33  | 2.75 | 全体の32%    |
| 臨時   | 4  | 4   | 5   | 7   | 4  | 0  | 4  | 2  | 12 | 2  | 13 | 12 | 69  | 5.75 | 全体の68%    |

- 平均入居者数は97.3名で、1年間の延べ入居者数は1206人となった
- 平均要介護度は3.5で、1年間の死亡者は27名(27%)であった
- 入院総数は126件、うち対象入院数は68件(54%)、月平均5.5件であった
- 検査陽性は104件、月平均8.7件、日平均は0.28件であった

#### 検証結果

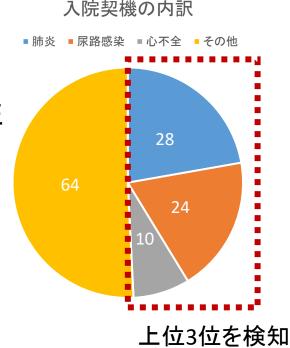
- 検査陽性:104件のうち、入院は64件、服薬は37件。医療介入は101件(97.1%)であった
- 対象入院:68名のうち、検査陽性は64件(94.1%)であった
- 医療介入に対する偽陽性3件(2.9%)、入院に対する偽陰性4件(5.9%)であった



12か月の平均入居者:97名/月

#### 検証結果(入院契機)

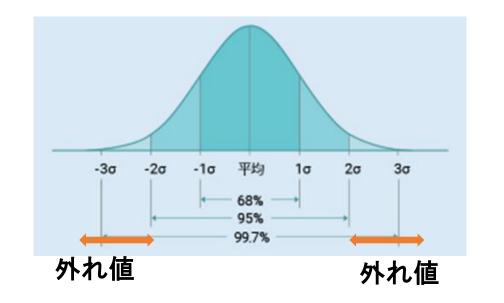
- 入院契機は、1位:肺炎(28件)、2位:尿路感染(24件)、3位:心不全(10件)となった
- 対象外の入院:上位は、転倒(5件)、消化器出血(4件)、脱水(3件)、胆嚢炎(2件) バルーン抜去(2件)、白血病(2件)、その他1件ずつ。
- よって本MEWは、入院契機の上位3位を検知した。
- ・ 入院の偽陰性(4件)の内訳
  - 1. 心不全(2名):トリアージ黄(スコア2点)+他覚症状
  - 2. 尿路感染(1名):バイタルが反応しにくい尿道炎の可能性
  - 3. 一か月前より食欲低下し、徐々に状態悪化。 肺炎・脱水・腎機能低下で入院(1名)





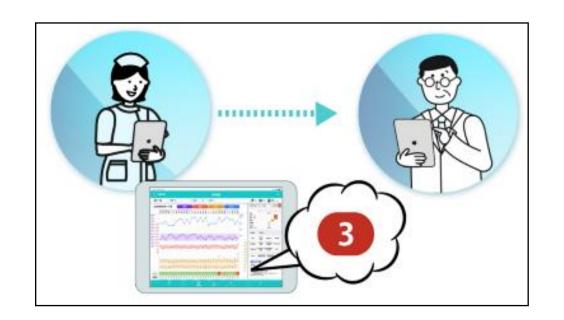
#### 課題

- 本検証と異なり、数年前の当該施設、及び全国の他施設では、トリアージの結果が良くない事例があった
- これらのデータは「外れ値」が多く、バイタル精度に課題があったと考えられる
- そのため「外れ値」となった場合、バイタル再測定により、何らか原因のある「異常値」 と判別し、バイタル精度を向上させる手法が有効と思われる



## まとめ

- 本検証では、介護施設における医療介入の検知に対し、良好な結果が出た
- ・ 本MEWSは全国の施設で運用され、「トリアージ:赤で医師に相談、黄で厳重注意」とし た健康管理手法により、入院期間や入院数の削減などが報告されている
- 「科学的介護」における重度化防止に対し、介護施設における本MEWSの活用は、有効である可能性がある



# ご清聴、有難うございました